

第9回 災害時母子救護研修

家を失った妊婦・褥婦・乳幼児は どこで生活するか知っていますか？

災害時に環境の変化を受けやすい妊産婦や乳幼児には、適切な生活環境が確保されるように最大限の配慮が求められます。HUG(避難所運営ゲーム)で災害時の状況を模擬体験しながら、地域の実情に合わせた災害時の母子救護の重要性を一緒に考えていきましょう。



オプションコース 医療的ケア児の災害対応

「災害時、この子は普通の避難所じゃ対応できないから・・・」
医療的ケア児（者）のご家族と災害の話をする時、こう言われたらどうお答えされますか？
「そうだよね・・・」と思うことも、「自宅が倒壊の恐れがあれば避難しなきゃいけないんじゃない？だけど、どこへ??」と思うこともあるかと思います。
私たちのプロジェクトは、行政機関と連携しながら、福祉避難所の設立・運営のシミュレーションを行ったり、養護学校での防災研修に関わったりしてきました。
今回、その経験をもとに（株）フラップゼロアルファが作成した動画を用いたシミュレーターを利用しながら、みなさんと一緒に、医療的ケア児の災害対策について考えてみたいと思います。

鳥取大学医学部脳神経小児科 中村裕子

日時：2024年5月25日(土)

- ・避難所運営ゲームで考える災害と避難所：9時～12時（予定）
- ・医療的ケア児の災害時対応（オプションコース）：13時～15時（予定）

＊午前、午後のどちらかでも参加可

会場：旭川医科大学病院 看護学科棟4階大会議室

募集人数：30名程度 職種：不問（医療知識は問われません）

参加費：無料

申し込み：下記フォーム、またはQRコードからお申し込み下さい

<https://forms.gle/PMGrMoQdwHqQ4oim7>

募集期間：2024年4月1日～4月21日

主催：旭川医科大学産婦人科「周産期支援及び若手育成基金」

HOPPIE（北海道周産期医療救急支援の会）

共催：一般社団法人WIND（北海道大学産婦人科）

お問い合わせ先：旭川医科大学病院 救命救急センター

助産師 片山 恵理 jimu.ekatayama@gmail.com



ホッピーくん